

職場対抗ソケット試合

三川指導部 樺島敬三

取れぬ点も 頑張れば取る

六月七日 取るもばい。次の期末手当新港グラウンドに闘争もこの調子で、うまくいくとよかばってん」

新港地域分会は主婦会の分会と家族ぐるみの「団結旅行」が、その目的の達成を信じていた。

新港地域分会が団結旅行へ

新港地域分会は主婦会の分会と家族ぐるみの「団結旅行」が、その目的の達成を信じていた。

五月二十一日柳川簡易保養センターで宴会。うたや踊りもで、にぎやかに過ごしたという。途中、立花氏別荘見学、昔の貴重な資料にびっくりしたとか。同地域分会新聞「しんこ」が、その目的の達成を信じていた。

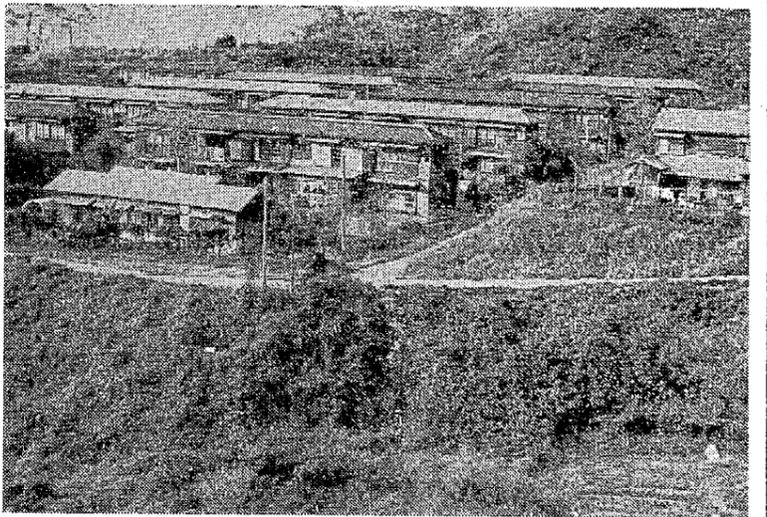
賃金手取り九万円

家族が病気でもしたらどうしよう

坑外労働者の主婦から便り

今年の春闘にかけた私達の期待は、無残にも打ち砕かれてしまいました。主人は坑外勤務で二十三年の勤続。三十九歳です。長女が小学四年。長男が四歳。それに私と主人の四人家族です。主人の給料は、月平均手取りの約九万円くらい。毎月、給料日に必ず支出することになっている金が平均約六万円。残りの三万円くらいは、衣・食をまかなっていかなくてはなりません。私は、子どもが一人のときは、子どもを保育園に預けて働いていました。主人の母の病気が、その目的の達成を信じていた。

三池炭鉱の社宅風景。苦しい生活がある。



宮城沖地震被災への激励に感謝

宮城 木村章

宮城沖地震による被災に対し、貴労組より心暖まる連帯の激励とお見舞いをいただき、深く感謝申し上げます。宮城沖地震は想像以上に大きく、その復興に全力をあげて居ります。お陰様で、労働組合、労働者は相互援助と連帯強化により回復も順調に進みつつあります。この安心下さい。今回の地震により、都市型震災に対する防災対策について、行政



保安第一 今日ひとの身 明日は我が身



職場新聞「交流」にマンガで活躍している吉田哲郎さんの作品

坑外一賃上げ70円の話 帳面消し教育の話一坑内

六月五日、有明機械(三池炭鉱の)の人達が数人集まって、カッカしながら話していた。Aさん こんど俺の昇給は七十円(一日当たり)だ。Bさん 西二十円だ。俺は、それでもよかばい。ゼロの者もあるよ。Cさん 労働組合のなか悲しきで、会社がよかじつすた。Dさん 三池炭鉱のありさまがこれじゃけん、大卒の地場賃金が低かった。

これは、週刊新潮(六月一日号)の記事。その個人資産、いったいいくらぐらい?と聞いてみたが、「それはいせん」。七十億ぐらいなんていわれてますが、水を向けてみると、即座に「冗談いっちゃいけません」という。普通、こういう答えの場合、「そんなにありませんよ」という言葉が続くものだがこの人の場合は違う。「あなた、奥道後(あのレジヤセンターのこと)の土地だけで百万坪。十五年前に坪十円で買ったのだが、今や坪十五万。みな私の個人名義ですが、

これはあきれ た、金持の話 一万六千八百円という超低額の賃上げに怒る労働者があつた。これが今、企業危機に直面している佐世保重工再建に乗り込んできた、来島とく社長の内寿夫さんのこと。三井は、別の別だが。